THE WOMAN'S WEEKLY
第四巻　第二十九號
大正七年七月十九日發行　（毎週發行金曜日）
大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□精神的價値に盲目な我が社會……小橋三四子
□世界大戰の近況……一記者
□偶感……森村市左衛門
□新刊紹介……
□米國の側面觀……南貞子
□讀者から……ト
□私の讀書「三谷民子女史」……記者
□泳ぎ得る迄……三井榮子
□拝む兒童の本能……岩村清四郎
□團扇と提灯……一保鑄
□西洋摸倣の卑屈心……斬雲
□お相談室から……
□夏の飲物……川崎正子
□オハナシ「二つ目の娘」……修子
□小說「愛」……木内錠子
□時事……

定價一部五錢　郵税五厘
婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

精神的價値に盲目な我が社會

□學問を愛好する婦人

先頃米國に八年間苦學しつゝ鬢髮に霜を交へても、なほ學生の氣分を湛へつゝ、病める老親を慰めん爲め、一時歸朝したる大岡蔦枝女史の談を掲げましたが、今回また南貞子女史が、九ヶ年の苦學を米國に嘗めて、母刀自と弟妹とを殘せる家庭を見舞はんが爲め、暑中休暇を利用して歸朝されたその談を掲げてございます。兩女史によつて伺ふと、日本婦人が凡ての困苦に打ち勝ちつゝ、たゞ高い智識に憧憬れ、專心學究に身を委ねて居る人が、なほ多數にあるとの事です。これ等の人は留學生等のやうに、政府や學校の補助があるのでもなく、また歸朝後にどこの學校に教鞭をとるとか、どこの會に働らくとか云ふ約束があるのでもなく、さればとて學士號や博士號を得やうとの名譽を思ふのでもなく、單に學問を愛好して、年の經るのも忘れて學び續けて居ります。

□人知れぬ貢献

これ等の人々は、相當に母國に於て教育を受けた人々でありませうが、外國に渡つて初めて學問の尊さ、樂しさを覺えたのであります。そして小さい名譽や煩瑣な因襲から逃れて、高い智識を吸ひ込んで、わが足を一歩高きに揚げやうと努力して居ります。自由が其の國風をなして居る米國は、これ等の人々を抱擁して、生き〳〵と育てゝ居ります。何事にも巧利的な日本に於ては、これ等の婦人の學究的態度が、或は理解されずに、何が爲めの學問、何か爲めの苦學ぞと云ふかも知れませぬが、この人知れぬ幾人かの婦人の努力は、やがて日本婦人に或る精神的革命を與へる原動力となつて、何時の世にか勃發する時期があらうと思はれます。わが婦人界はこれ等の恩人に向つて、感謝の意を表さなければなりませぬ。

□働きの舞臺を與へよ

それと同時に、我が社會に二三の注文があります。それはかういふ努力を積んで來た婦人に働らく舞臺を與へたいことであります。我が婦人會は、なほ階級的に結ばれて居り、其の活動もほんとうにお役目風であります。社會の根本に目を注いで、眞の必要に向つて活動して居る會が乏しくあります。それもその筈で、其の黑幕は大抵男子であつて、單に俸給によつて、働らきを執つて居るのであります。國家の前途を憂へ、婦人界の發達を希ふ熱情に乏しいのも當然であります。今やわが婦人界は婦人の頭腦、手腕によつて、眞の必要な事業を營まなければならぬ實質改善の時代になりました。自然は丁度これに補充せんが爲め、何の當てなくたゞ或る力に延かれて學んだ多數の婦人を用意して居ります。これ等の婦人は何時の間にか遠く北米の天地で哺んで居てくれました。せめてこれを精々容れる丈の度量だけでも備へて、充分その蘊蓄を注ぎ出す便宜を與へたいものであります。またさうする事がどんなに我が國家の幸福であるかも解りませぬ。

□精神的勞作に對する尊敬

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今一つは婦人の精神的勞作に尊敬を拂ひたいのであります。男子は職業によつて金を儲け、婦人は家庭を結んで子供を擧げる以外に、精神的の勞作を認める事の乏しいわが社會は、わけて婦人の苦學するなどは、一種の物數寄かの如く思つて居ります。嘗て世に識者と云はれる大學教授の某博士が「女子の高等教育は不幸にして結婚の出來ない不具者の受くべきもの」と眞面目な席上に堂々と云はれた事を記憶して居りますが、かういふ説の聲を擧げて云はれる社會は、到底婦人は育ちませぬ。婦人も人である以上は、名利から離れても、高い智識生活を欲求し、人知れぬ勞苦を續けて、進む道を啓いて行くでありませうが、實にこういふ婦人は幾千里の海を越えた米國の方が、母國民よりも遙かに理解してくれるのであります。維新の志士が、まだ鎖國の禁を犯しても、外國に學ばんとした氣慨が、漸く婦人の上にも見えて參つたので、之等の婦人は留學生として送られ歸朝後義務年限に働らく幾人よりも、我が婦人界の志士とも云べき忠誠な働らき振を暗々裏に行ひつゝあるのであります。

□多種多樣の婦人

日本人には社會上の地位により、もしくは目に見える結果によつて、其の人の價値迄も定めて終はうとする惡い癖があります。これは確かに封建思想の遺物であつて、人を生かして世に起たせない所以であります。それ故首腦になる人か、全く盲從して手足の如く働らく人か、二種類に限られて、いろ／＼の希望と努力を重ねつゝ、遊軍の務めをする多樣な特色ある人が生れて來ません。否生れて來ないのでなくて、これを認め得ないのであります。精神的價値に向つて、我が社會が醒める時には、特色ある婦人等は、敢へて外國に逃れて育たずとも、自由に、生き／＼と延びつゝ、各自其の分を盡して社會を賑はして行くことが出來ませう。（三四子）

世界大戰の近況

一　記者

□佛英戰線

幾度か危機を傳へられた聯合軍の陣形も、今や漸く堅固に、獨軍の進出を遮つて居ります。獨逸が露國レニン政府と講和して、露國戰線にあつた軍兵を、英佛戰線に回送し、一擧巴里を衝かんとしたのは、三月下旬の事でありました。その勢の鋭きこと眞に破竹の如く、忽ちにして佛領深く二三十哩突入し、今更乍ら聯合側を悲觀せしめましたが、英佛軍善く戰つて、獨軍に大損害を與へつゝ退却し、第二陣地に於て敵を喰ひ止めました。かくの如くして五月下旬迄に、獨軍は三回の大攻擊を爲し、其都度多大の犧牲を拂ひ乍ら進出し、其突端は巴里まで三十哩以内の地點に達し、長射砲彈は佛都の市民を脅かしたのであります。

二

□獨軍不振

然るに其後月餘、獨軍の第四回大攻擊は、準備成ると傳へられ乍ら、未だ實現いたさぬのであります。是れ何が爲でありませう。獨軍陣地に流行性寒冒が蔓延してゐる爲に、士氣昂らざるも其一因でありませうが、今春以來三回の大攻擊に獨逸の失つた將卒は實に六十五萬に達し、最初八十箇師團であつたものが五十五箇師團に減じ、其補充の出來ぬ中は攻勢を取る事が不可能であります。一方英佛側には、百萬の米國兵來援し、士氣大に昂り獨軍四度び攻擊を開始せば、手ひどき目に遇はさんものと待ち構へて居ります。而して獨逸議會では、シャイデマン氏一派の社會黨員、平和に對する政府の態度に反對なりとの理由に依つて、軍事豫算に投票を爲さず　新聞紙は敵味方

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

均等の條件にて速に講和を結ぶべしと主張するものあり、擧國一致外敵に當るの意氣は減殺されて居ります。然し乍ら、獨逸の事ですから、兵員の補充成り準備整ひなば、必ず新攻勢を開始するでありませうが、果して幾何の効果を上げ得るかは大いに疑問であります。最早、如何にしても獨逸が決定的勝利を得やうとは想像されなくなりました。

□米軍百萬

飜つて聯合軍を見れば、昨年五月以來送派されたパーシング將軍指揮下の米軍、この六月末迄に百二萬に達し、自由の星旗を飜して盛んに奮戰して居ります。七月五日來電には、米軍が敵の大部隊を擊破してヴオー村落を占領し補虜千二百を獲た事を報じ、尙彼等は英軍と協同して、アメルを占領し、英軍參謀官より「米軍は惡魔の如く戰へり」との賞讃を受けたと傳へられます。

斯くの如くして、米軍參戰以來の死傷者は一萬一千餘、而も獨逸潛航艇の爲に、海上に死せるものは僅に三百に過ぎぬのでありますから、現在米國本土にある百萬の兵は本年内に安全に佛國戰場に送られ、愈々聯合軍の爲に奮戰するでありませう。

七月四日、米の獨立祭當日、彼國にて進水したる船舶は百隻に上りました。戰鬪艦四十八隻建造費十六億弗は可決されました。飛行機二萬臺を建造して、獨都を襲はんとの計畫も立てられました。昨年四月、獨逸の非道なる潛航艇戰に憤慨して起つた米國は、世界の商人國、何するものぞとの感を抱かせましたが、爾來一年有餘にして前述の如く一大軍國の裝を爲したのであります。此の米國の努力に對し、最も感謝の意を表した英佛では、米國獨立記念日を國民的に祝賀し、巴里の一市街は新に米大統領「ウヰルソン」の名を冠せられました。

□伊軍奇勝

六月中旬、一週間に亘つて行はれた墺軍の大攻擊は、深く伊太利を刺して、伊軍は再び起つ能はぬ程敗れました。が、天なる哉、沛然として到つた豪雨はピアヴエ河を氾濫せしめ、墺軍の補給絶えたるに付入つて、伊軍必死の逆襲功を奏し、墺軍は十八萬の兵を犧牲として占領した處を、一朝に抛つて潰走しました。その後伊太利軍は攻勢を持續し、到所に勝利を獲て居る一方、墺國内では曩頃食糧暴動が起る。社會黨の平和運動は盛んになる、内閣は幾度か總辭職を乞ひ乍らカール帝は之を許さぬといふ樣な事情にあります。是を要するに、目下の處聯合側には寧ろ樂觀し得る狀況にある次第であります。

□露國可憂

轉じて露國の形勢を見れば、六月末チエック軍の浦鹽過激派を破つてから、各地の反過激派（即ち穩和派）振ひ立ち、過激派は殆んど其影を熄めたかの觀があり、ミハイル太公自ら皇帝を宣言したと同時に、ロマノフ廢帝暗殺されたとの報道がありましたが、廢帝暗殺は虛報のやうであります。扨て何物よりも驚くべき報道は、モスコー駐劄獨逸大使ミルバツハ伯が露國社會黨員の爲に暗殺された事であります。此報に接した獨帝は、伯林にある露國大使を直に追拂へとまで激怒したさうです。此怒りは獨逸が露國に對する暴虐の度を加へ、獨逸勢力は愈々深く露領土に浸入するでありませう。

是れ露國の爲に憂ふべき事であると共に、我國の爲にも大なる利害の關る所であります。吾々國民は愈々一大決心を以て、前途に橫る困難を切り拔けねばなりません。それかあらぬか、頃來、臺閣諸公の來往頻繁となり、時局の愈々緊張し來つた事を思はせます。（七月十三日記）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

偶感

男爵 森村市左衛門

□

日本の學者、政事家が寄合つて居る所を見ると、各天狗の鼻の突き合せであるが、但しその鼻は護謨製であつて、ぶつつかると直ぐに折れて妥協して終ふ。天狗でもよいから、各の所信を堂々と發表して、生きるか死ぬるか、何故その說を徹頭徹尾鬪はして見ないのであらう。そして眞理があると見た折りは負け惜し味を捨てゝ、男らしく其の前にひれ伏したらよいと思ふ。こういふ社會であつたら、凡ての研究的會合も、もつと有効に行はれて、我々の如きも、これに連つて學ぶ所が多からうと思はれる。

□

大學者と名のつく人々の書いた書物に、何の光りも認めず、却つて山室軍平氏の著述のやうな、通俗的に平易に書いた物の中に、多くの人が、一種の靈感を受けて居る。今の學者が多くは書物の丸嚙りをして、少しも消化せずに、これを再び吐き出して、社會に發表して居ることが、其の說を權威なからしむる所以であらうと思はれる。嘗て澁澤男爵が「自分は學者のやうに澤山の書物は讀まないが、纔迄もよく消化して終ふ」と云はれたが、確かに今日の學者にはこの消化が不足して居るやうに感ずる。學者が單に書物の請け賣りをするならば、圖書館は最も好い學者である。然し學者といふ人格ある者に我々が師事したいのは、其處から光りを認め、靈感を得たいが爲めであつて、それには學者が書物を消化して更らに獨創的の意見を發表し得るやう、自らの研究を心掛けられたいものである。

□

自然を見渡せば、松は亭々と茂つてどこ迄も松の特色を發揮して居る。百合は百合、芝草は芝草であり、また道傍の名もない小草迄が、各々其の色と香と、葉と幹とを變へずに持つて居る彼れ等は心ない植物であつても、充分に責任を盡して居るのである。然るに人間にして責任を負はず、立場の曖昧な者はめづらしくない。彼れ等は草木にすら耻ぢなければならない。

□

私の名古屋の支店で、獨逸の

四

捕虜を使傭して見た。彼れ等は職に忠實に、よく其の責任を盡すことは、到底日本の勞働者の類ではない。朝時間が來れば、隊伍を組んで、徐々と仕事場に入り込んで來り、よく命令を守り、釘一つも容易に拔けないやうに親切に打ち込んで居る。監督者が見て居やうが居まいが、それが自らの責任であり、その責任を盡すことが、いかにも滿足であるらしく見える。かうして終日働らくと、また靜かに隊伍を組んで歸つて行くのであつた。この捕虜は獨逸國民として國家を双肩に擔ふて力一杯自重して居るのかどうかは知らないが、其の忠實に責任を盡し、柔順に義務に服從する處を見ると、敵ながらも其の母國を奧床しく思はざるを得ないのであつた。

□

日本は今日實に精神的危機に瀕して居る。戰時の利得に僅か

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

斗り國が富んでも、一朝緩急あれば、そんな財貨は木の葉の如く舞つて終ふ。しかも國民は墮弱に陷つて居る。名譽ある者迄、往々不正手段を用ひても、私腹を肥やさうとして居る。人に使はれる者は、樂をして成るべく多くの收入を得やうとして、責任は全く忘れて居る。それ故各所の製造所は粗製濫造を出して顧みず、約束は履行せられない。しかも人々は忍耐に乏しく、體力が極めて弱い。國家の持久力は目に見える僅かばかりの財貨ではなくて、其の精神である。

□

然らば其の精神は何によつて養ふか、單に倫理でもいけない、道德でも未だしである。もつと根本の神に迄溯らなければならない。私なども漸くこの數年來此處に氣付いて、今日漸く神の僕たる事を得たのであるが、凡ての富や繁榮にも增して、この一事が大きな幸福であると感じて居る。國家を憂ふる念は、絶えず溢れて熱烈な祈禱となるが其祈禱には常に答へを受けて、大なる奬勵となつて居る。只恐る「富める者の天國に入るは、駱駝の針の穴を通るよりも難し」で、僅かばかりでも富のある身は、その爲めに、眞純に神を見る眼を遮られはしないかと。この點は深く心を潜めて考へて居る所である。

□

世が因襲に捉はれて居る間は、國家は衰微する斗りであるが、これに反して決然と時勢に感激して起つ青年が多ければ、其の國家は必ず繁榮に赴いて行く。今日多くの青年等は、徒らに先輩の意を迎へて、立身出世を夢みずに、眞に國家の前途を如何といふ憂國の念慮を以て、世に起たれんことを希望する。そして自由と獨立の意味が、立派に實現して行つたならば、惰氣滿々たる國家も、必ず新興の氣鋭に滿ちて來ることが出來やうと思ふ。

□

婦人と勞働者は、世界中今將に開放されんとして居る。日本も亦その潮流に洩れず、其の社會に一大變化を來さうとして居る。然し久しい間籠に入れられて居つた鳥は、翼がしびれて、自由の野に放されても飛ぶ本能を忘れ、彼方此方にさ迷はなければならぬやうに、放された婦人と勞働者は其の行く途の目的を見失ふ者が多くはあるまいかと思はれる。彼れ等はもはや人に束縛され、これに盲從する事は好まないであらうが、また自らの力にのみ頼つて、決してその生活を幸福ならしむる事は出來ない。當然歸るべき神の懷ろに立歸つて、此處に其の根據を置いて、一個の國民として、一個の人として、世に打出づる其の健全な道行きを只管に望んで止まない。國家を根本より改善する者は、私の常に主張する如く、母たる婦人の力に俟つより外ないのである。今日のわが國狀を見れば、實に憂慮に堪へないものがある。只婦人の覺醒はこの暗雲を啓く一道の光明と信ずるのである。

新刊紹介

□山嶽生活　著者は名を秘して單に自然子と署名して居ります。十年の間たゞ獨り入る人なき山に入り、大自然の懷に抱かれつゝ、其の靜かなる生活を、樂しむ間に、磨かれたる信仰、自然觀察、冒險談、ふと會ふ山上の人の物語等を集めてあります。思ひ餘つて筆足らぬ節々もありますが、それが却つて韻文やうなこの內容に趣を添えて居ります。著者はなほその山嶽の何處の地方かをも說明して居りません。その序文の一節に「地は十數ヶ所にわたるゆゑ、名を明かにしたけれど、われ今なほ獨り棲むを好むゆゑに、よしない「友を得て、妨げたまはんことを厭ふまゝ」云はず」とあります。　大正の方丈記たるこの著者は「山嶽生活」を通して見れば、基督敎の信仰を持ち、やがてポーロの如く「町に出でよ」の召しを蒙るのを待つて居るらしく思はれます。深い山岳の稀らしい物語と共に、著者の人物はこの書を讀む者の一種の興味であります。卷頭には森村翁の「與神俱樂與苦俱行」の題字があります。(定價金六十錢東京日本橋通り一丁目大倉書店)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

米國の側面觀

苦學の賜物ごかたる

南貞子女史の歸朝談

目白女子大學を卒で、九年間米國の白人の群に交つて、勞働と勉學とに餘念無い月日を送つて居た南貞子女史は、今年は久方振りに暑中休暇を利用して、なつかしの我家へ耕地整理の爲めに歸朝された。コンノート殿下と同船の春洋丸に樂しい夢をのせて、彼女は母の事妹の事弟の嬉しげな顏を描いては日本の地へ近寄りつゝあつた。然し其の樂しい時間は、我が命と賴む母親の大病に陷る時であつた。彼女が船に乘る一日違ひで母人は病院の白いベッドの上に身を横へたのであつた。偶然！ほんとに偶然！何といふ哀しい出來事なのであらう。

＊＊

府下荏原郡池上のお宅はひつそりとして居た。廣く展けた畑地、そこには玉黍蜀が丈高く細長い葉を慄はして居た。青々と蔬菜類は波打つて居た。葡萄棚には眞靑な粒がこびりついた樣に天井一杯はびこつて居た。鷄屋には鳥の影もなく、空舍はいたづらに寂として庭男の鋏の音のみが、まひるの空氣にこだまする。雛を育つる人の病むためか、孵卵機は庭の片隅に積まれたなり、萬物はたゞ沈默を守つて居る。

＊＊

なつかしい瞳を、ふち無しの眼鏡の底にしばたゝいて、貞子女史は不安の胸に、逢ひたさに燃えて居た母人の事どもを案じ煩ふのであつた。今日は保つか明日はどうかと暗い心を持つて旅に疲れた身を、彼女はせつせと病院へ通つて居る。

＊＊

眞白い涼しさうな服に、小柄な體を包んで、彼女は快活によく語る人であつた。『人樣のやうに、私は立派な學校生活の出來る身分ではありませんで、ほんとの勞働者です。ですから九年間の年月は居りますが、まだやつとハイスクールの四年生です。其の代り私は他の人の窺ひ知る事の出來ない、微細な裏面をも知る事ができたと思つて居ります。私の感謝はそこにありますの…』ハウスキーパーとして彼女はつぶさに辛苦を嘗めた。しかも感謝の念に燃えつゝ、更に血の出る樣な生きた生活をつゞけて居る。働きつゝ彼女は最初に學ぶべく、夜學校の生徒となつた。そこは種々雜多な人種の集りで、盡く勞働をする人のために開かれてある。彼女はそこに好めるシビックスを學ぶ事一年であつた。

＊＊

『その學校は米國民を增やす手段と云ふ樣な計畫を持つて居る學校でした。けれどもそれが實に親切で、常識を持つて接してくれますので、少しも反感とか嫌惡とかの感に唆られる事はありませんでした。なぜなればその手段がたとへ狡猾でありましても、日本人はどうしてもあの國民と成り得る事の出來ない事は分つて居るではありませんか。それだのに矢張り親切にして下さいました。さればこそ今度の戰爭が開かれましても、多くの日本人が義勇兵として出征したのではないかと思はれます。その他家庭の主婦などの働き方は實に生きてゐるんですもの…戰亂に加つてからは、三十弗以上の賃金を拂つて女中を使つて居る家では、稅を取られなければならない事になりました。それ故主婦達は一切の家事萬端を自分の手に處理し、且つ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女中の費に充つべきものは戰爭の方へ寄附するといふ様な法をとつて居ります。』

＊＊

『これはほんの私の目擊し且つ實行した一部分に過ぎませんが、私共の學校では、週間毎に古金屬類やら古靴、古糸、古鑵やら、空壜やらを集め、木曜の朝一時間を生徒等は戰爭のために捧げる時として、自働車を運轉し、自ら集めた物を運びました。かうする事が夏休みのプログラムの中にも出來て居ります。私は試みに日本人町を五軒から六軒歩いて、空壜を二百本以上集めました。かつて全國からミルクカンを集めた事がありました。國民たる者は少くとも一人二個以上といふので、此の廢物利用の金高は四百萬弗にあがつたといふ事です。かくして得た金は凡て戰時の何物かに捧げられるのであります。全く生きて居りますよ。――その働き振りがね、學校も社會も一つになつてしまつて居ります。』

＊＊

『又家庭の生活振りの秩序整然たる事もお話のほかです、何曜日は洗濯、何曜日は掃除と、定められた通り、どの家でも洗濯をする掃除をする、しかもそれが必ず午前中にはかたづいてしまひます。洗濯の日はどこを通つても眞白い乾し物が風に靡いて居ります。ですから隣の家の掃除のごみが舞ひ込む様な事もなく、皆日に依つて、整然と行はれて居ります。ですから主婦は時間があります。午前中に片がついてしまふと、一寸體を休ませて横になり書物に親しみます。實によく勉强しますよ』かうした生きた様な話が縷々とつゞく。女史はほんとに生き生きとした話し振りである。

＊＊

女史は前途に靑雲の志を抱いてゐる。やがてはシカゴのシピックス、エンド、フヰランソロフヰーへ入學する願書が出て居る『九月の卅日には只今行つて居る學校が始まりますから、其れ前に歸らなければなりませんが、間に會ふかどうか分りません、延びると困るんですが……次に入る學校は、社會經濟の一通りは勉强しなければなりません。博士や學士號を得る爲めではなく眞に社會的事業をなし得る智識と力、及び過去に何かしら事業の歴史を持つた人達の集りなのです』かう云つて女史は自らが入るべき未來の學校の話もして下すつた。も少し日本の婦人は自らの頭を働かせて、日常生活を安らかにしなければなりませんね。私は今後も白人の中で働きたいと思つて居ります。故郷ですもの日本は懷しくて好きですけれども少し何とか生きた國にならないものでせうか、……日本には居ないからにくまれ口をいひますよ――』莞爾として氣持の好い笑ひ聲が傳はる。つひつり込まれて長居をしてしまつた。（佳子）

讀者から

北米バークレーより

川島政子

うつくしき木々の若葉のみさりかな梅も櫻もちさくみのりて

など、、近間の庭を眺めて詠みいで候。いま思ひいで候へば、日本は丁度

夏衣きそむろけさは藤の花にわかにのびし心地こそすれ

さも申べき初夏の心地よきを偲び申候。幾年住みなれ候とも望郷の念はおなじに候。いつか時節到來致し候へば、暫らくにても歸り皆々樣にお目に懸り度きものに候。同封の小切手の五弗は、三井物産會社桑港支店長永島氏夫人の編輯費の内へさ御寄附下され度しとの事に御座候。後略（六月一日）

升田醫院

外科 小兒科

內科一般

X光線科（治療 診斷）

『入院隨時』

東京市麻布區三河臺町一三

六本木停留場脇電話芝四〇七番

院長醫學士 升田廣

長崎醫學士 山本猛虎

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私の讀書

三谷民子女史（十）

濁り江の「お力」の評

▲暑中休暇に成るか成らぬ日に現金な若い人達の影はもう一人も見當らなかつた。寂とした女子學院校庭には、たゞ白いグラウンドから反射する熱い日光のいきれが、焦熱地獄の樣に眩ゆく燃えて居た。窓を締切つた暗い寄宿舍の廊下を辿りながら、二階の角の部屋へ昇つて行く、そこは洋風の間に疊を敷きつめた氣持の好い一室である。歸り遅れた三谷民子女史が一人ぼつねんと机に向つて居られた。先生も歸省の仕度で忙しい最中である。

▲壁を背にして四方に立つた竹の書棚は、ぎつしりと書物を詰め込んで身動きも出來ない有樣である。『これでもね、一度火事で悉皆焼けて、それから又溜まつたもの許りなんです』先生の聲はいかにも人馴れた懐しみを含んで居た『此頃は妙に日本の物が好きになりまして、古本を買ひ集める事に興味を持つ樣になりました。』かう云つて指される方を見ると、いかにも手垢に見事塗られた『くさ草紙』がうづ高く積まれてあつた。銀座の夜店で、漸く端をつまんで買つて來て、それから毎日日光消毒で大騒ぎをしたと面白さうに物語られた。下の列には一面に日本の小說が詰まつて居る。『紅綠さんの亡くなつた娘さんが、此校の生徒だつたもんですから、よく持つて來てくれました』と、「虎公」だの「鳩の家」だのが行列して居る。同じく生徒であつた眞山青果氏夫人の手から貰つた「五人女」などもある。

▲私は妹のために家事文庫へ入つて居ります。其他漱石文庫や、日本文學叢書で、月々三つの會員になつて居ります。日本文學叢書が洋書とちなのはつまらない事です。こんなものこそ純日本風の書物であつてほしいと思ひますのに。私は元來バタ臭い人間の樣に思はれて居りませうけれど、自分では一ばし日本趣味一てんばりで生きて居るつもりなのです。洋書も好きは好きですよ、歴史小說が好きで殊にスコットなどを愛讀しますダンテ會に入つて時々ダンテの神曲も研究して非常な趣味を感じて居ります。けれども私は純洋風に沒頭する事は出來ない人間です。それは小さい時から町家に育つて、踊りや三味線の空氣に浸つて居たからでせう。私は今でも義太夫にしびれを切らして聞き惚れたり、日本の音樂

八

ならば何をおいても飛んで行きます。さうかと思へば此頃は、年寄のひや水で、香蘭の友人、（長谷川きた子女史）と二人で佛蘭西語を習ひに行きますが、大勢の中にたつた女が二人は、いかにお婆さんでもバツの惡るいものでした。』

▲先生の佛語は近頃だいぶ御上達の樣である。佛蘭西物も書架の一段を占めて居る。上方には英詩許りが一杯並んで居た。正面の一番下に漱石や、二葉亭、樗牛などの背文字が見える。其中に赤い表紙の一葉全集の後編のみが交つて居る『一葉さんの「にごりえ」が上演されるといふので、再び取り出して讀みましたが、却々新しい興味を喚りますね。私はあの社會のお力の心理狀態を面白いと思ひます。莫連女がわざとすげなくする心に男の家庭を亂すまいとする心持に美を認めます。子供に菓子を遣るあたりは、女の美です。それが却つて妻君の心に變化を起

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

させるのは普通の事です。お力の樣な人はいくらもあるでせう表面から批評すれば妻君があゝした感じを持つのは普通で、古い道徳の束縛の中に在りつゝも堪へられない嫉妬が溢れ出て居る。お力がもし教育と境遇とが好かつたならば、立派な女だつたらうと思ひます。あれで滿足して死に、神聖な戀に生きた女です。一葉はそんなつもりで書いたかどうか知りませんが、私は近頃讀んだ新しい印象の一つとして以上の樣に面白く感じて居ります。」先生はかう云つて『にごりえ』に遺憾ない批評を加へられた。此休中に讀むものとして、米國の知友から送られましたの、先生は二三冊の洋書を示された。何れも近頃の戰爭文學の種類であつた。

泳ぎ得る迄

三井榮子刀自談

▲場所は麻布本村の宏壯な洋館建の中、玄關から直ぐとつつきの應接間であつた。三井養之助氏夫人榮子樣は、赤い團扇の風を輕く受けながら、快活な、けれどもしとやかな調子で、かう被仰つた。『水泳ですか……私盛に泳いだのはもう十七八年も昔の事です。さう泳げもしないくせに、よく皆樣からおつしやられますが、あの頃は婦人で泳ぐ方が少なかつたからでせう。私の存じ上げて居る方では、目賀田男爵の奧樣と、先代の小笠原子爵未亡人位なものでした。ですから私なども澤山泳げると皆樣から思ひ違ひをされて居るのでせう、……』夫人はかう謙遜されてから、眼を瞑んで花と散る白波の海邊を思ひ浮べる樣に微笑して、泳ぎ得る日に至つた思ひ出話をして下つた。

▲『宅では大磯に別莊がございますので、夏になると子供達と伴れ立て海と親しんで居りました。泳ぎは私などよりも娘達の方が餘程上手でした。泳ぎ始めは板に依つて致しました。左樣――丈三尺厚さ一寸位の板があります、それにつかまつて足をばた／＼して居りますうちに片手を離して見、おしまひには兩手を離し得る樣になるのでした。どうしたら體が浮くだらうかと、それ許りが氣になります。私はいつとはなしに泳ぎ得る樣になりました。板に依らない時は「黑ん棒」と普通申して居りますが、茶屋の男衆の樣な人に手をとつて貰ひます。矢張り片手づゝ離して、一分、五分、十分といふ樣に段々時間を長くして離れて泳ぐ樣に致します。或は此方が板よりは早いかも知れません。人の性質に依つて早い人と遲い人とがありませう。まるきり初めての人でも、廿日か一ヶ月も練習いたしますれば覺えられるかと存じます。泳ぐ事を知つた時はほんとに嬉しい氣持がしました。そして體が浮いてくると、却つて餘り淺い處はあぶなく感じます』。波の中に浮きでたほつそりとした夫人の海水着姿が目に見える樣であつた。『もう私は長いこと海へは入りません、頭の具合が惡いので、どうしても山の方がいゝと思ひます。別莊へ參りましても裏の方の山へ許り行つて居ります。でも泳ぎは忘れないものだとか申しますから、今でも水へ浸たればぽちや／＼位はするかも知れません。』

お話はこれだけでとぎれた。後から／＼と訪問客の自働車のひゞきが絶えない。夫人の心は忙しさうときめく。在宅中の御主人は訪客に忙殺されて居られた。内玄關には靴や下駄が一杯並んで、日曜日らしいせはしを物語つて居た。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

拜む兒童の本能

適當に指導しなければ退化し或は畸形になる

岩村清四郎

氏は嘗て亞米利加に遊び、日曜學校教育を特に研究して方で、現に靈南坂教會の副牧師として、靈南坂幼稚園設立に與つて力ある方であります。

□母に抱かる、幼兒

兒童に宗教教育を授くる可否に就て、往々疑問を抱く人がある。私はこれに答ふる前に先づ宗教心とは何ぞやと探ねたい。宗教心とは我が力以上のものに信頼すること、其の大なるものとの交通が宗教心であると云へやう。そうして見ると、無心の稚兒が、母親の手に抱かれつゝ、安心してニコ〳〵して居るのも一種の宗教心である。或る種類の人が狐を拜み、噴火山にひれ伏し、古い公孫樹の前に膝づくのも亦宗教心の發露と云ふことが出來る。然し人間が發達すればする程、その宗教心は理想的のものに向つて進んで行く。

□時と場所の觀念

兒童には「永遠より永遠に向つて、在まさゞる處なき神」など、云つても、「永遠」といふ時間や、「在まさゞる處なき」などいふ場所の觀念を持つことが出來ない。例へばお伽譚に於ても「昔し〳〵」と云へば、それが鎌倉時代であらうと、王朝時代であらうと、神代であらうと、一向關係がないのである。「或る所に」と云へば、それが日本であらうと、支那であらうと、西洋であらうと構はないのである。かういふやうに少し形を離れた事になると理解し難い。それ故基督教に於ても、兒童には、イエス様がどんな着物を着て、どういふ處に居られて、どういふ人々に、どういふ事をせられたといふ事實を以て、神の愛と眞を知らせるのである。

□形ある者を拜む

宗教心は年と共に變つて行くことは必然の事であつて、初めは單に形ある者を拜むのであつても、次第にこれに倫理思想や社會思想が加はり、人間の最大なもの、愛で結ぶのである。神社の鳥居を醜業を營みながら建てるなどは、倫理思想が入らぬ野蠻時代の宗教と云はなければならぬ。學校から三つ菓子を貰つて來て、それを兄さんと弟に一つ宛やれと云つても、なかなかやらないやうな兒童の我利我利の心には、人の爲めに命を捨てる愛などゝいふ社會心は解らないのが當然で、神様は日を照らして下さる、雨を降らして下さる、花を咲かせて下さる、草木を育てゝ下さるといふ與へられる恵みを先づ覺えさせるのが適當である。

□父が神の標準

私の姪の六つになるのに「悦ちゃん神様を知つて居る?」と聞くと、「知つて居る」といふ。「それなら顔は丸いか長いか」と聞くと「丸い」と云ふ。「髮の毛は?」「黑い」「目は?」「大きい」「お髯は?」などゝ聞いて行つて見ると、遂にそれは父親の事を云つて居る事が解つた。子供の宗教心の標準はこの位ゐ幼いものである事を忘れずに、てれに相應した刺戟を與へて啓發して行かなければならない。元來宗教々育と云ふから、誤解し易いのであるが、教育ではなくて、人間の本能なる宗教心を啓發するのである。

□退化と畸形の發達と

もしこの本能なる宗教心を放擲つて置けばどうなるかと云へば、退化するか、畸形に育つより外ないのである。暗に居るマンモスケーブの魚や、アラスカ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の馬の様に目を使はなければ・遂には目が失くなつて終ふ。ゼームスの心理學にも書いてある通り、鷄が孵化つて三日斗り、紙の袋を冠せて、餌丈け嘴に入れて養つてやり、扨その袋を取ると、母鷄にもつかず、無鐵砲にズーッと彼方此方走つて、物にぶつかり、遂に死んで終うと云ふ事である。即ち物を啄む本能に適當な刺戟を與へない爲めに、畸形的になつたのである。

□今一歩の處

人間世界に於ても、方角を恐れ、星や月や、植物を拜するのは、宗教的本能がまだ幼い儘に殘つて居るので、強い言葉で云へば、宗教的低能である。更らに哲學に迷ひ込んで不可解と叫んだり、或る種の諦め心を持つたりするのは、宗教的本能の畸形的の發達と云はなければならない。私共の子供時代には、よく親がするやうに佛壇に向つて手を合せたり、物を上げたりしたものであるが・まだ嘗て大人は内容を聞かしてくれた事はなかつた。よくお團子を佛壇に上げるので、「佛様はお團子を召し上るのか」との疑ひを持つて、見ると、少しも召し上がらない。或る時父に「佛様はお團子を召し上るのか」と聞くと、父は「心を召し上る」と答へたので、私は人の居ない時、そつと佛壇の團子を下ろして割つて見たが、心が何ともなかつた。それで父に「佛様は心も召し上らないぢやありませんか」と云ふと「そんな事をするもんぢやない」と吒かられた事を覺えて居る。かやうに子供の問ひも父の答へもよい處迄行つて居るのであるが、一歩と云ふ處に行き詰つで進ませないのが、宗教心を啓發させぬ所以であつた。

□お月様の〻様の後の者

子供はよく「お月様」「の〻様」と云つて拜むものであるが、母が少しの注意でそのお月様を照らして下さる方、そのの〻様を作つて下すつた方といふ事を、次第に理解させて、月そのもの、日輪そのものを拜むのでなくて、其の後ろの或るものを拜むやうに導いて行くのである。何か惡るい事をしても、母さんや父さんに謝罪る前に、先づ神様に謝罪せる事を教へるのである。さうして何處にも在まさゞる所なき神様、いつでも自分を護り導いて下さる神様あるを知らせる事は、やがて父母の膝下を離れて遊學する折にも、社會に獨り立つて行く上にも、絶えざる護りを覺え、大きな力にすがらせる第一歩であらう。

□宗教的本能とは

子供に宗教心を早く注ぎ込むのはいけないなど〻云ふ議論は自然消えて行かなければならない。只子供不相應な、大きな心理を教へたり、型に篏めたりすれば、弊に陷るのは當然であるが、本來持てる宗教心に刺戟を與へて、啓發して行けば、必ずそれは次第に高尙に發達して行くべきものである。但し宗教的本能といふ事には、說があるかも知れない。宗教的本能は、他の遊ぶ本能、食べる本能といふやうに、個々獨立したものではなく、凡ての本能即ち恐れる本能や、好奇の本能、愛する本能等を綜合したものであらねばならぬ。

□敬虔な場所

我が日本には敬虔に神を拜する場所や氣分の乏しい事は、兒童にとつて氣の毒な事と考へる。神社やお寺と云へば、たゞお祭りをして、物賣りが並らぶ賑やかなものである以外に、神々しい氣分で内容を知つて拜むのではない。また兒童に接近して居る親や大人も、宗教の何たるかを知らぬ向きが多いので、兒童の本能を退化させて終ふ場合が多い。兒童に立派な宗教心を持たせやうとするには、親自身が先づ敬虔な宗教心を持ち、社會にもその氣分が漲るやうにしなければならない。我が國の兒童は家庭、社會に何の宗

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

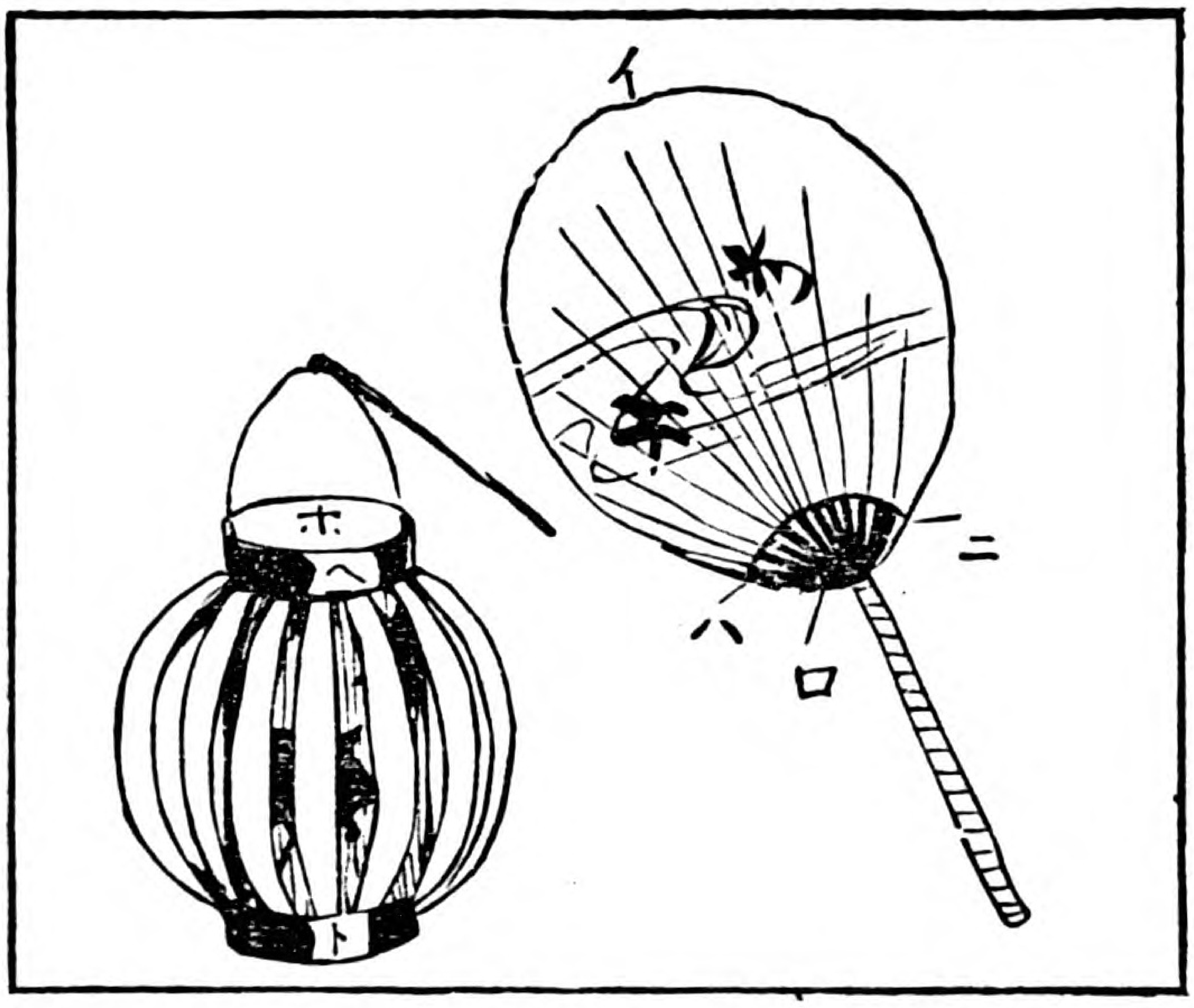
致的感化を受けて居らないから拜む氣分を眞面目に起させる丈けでも容易ではなく、從つて子供らしい快濶の中に、一種の落付きを持たせ、しんみりした調子を出させて行くのに困難である。複雜喧燥な社會に立つて底力ある國民を養ふ爲めには、社會一般は大に反省しなければならない。

團扇と提燈

子供の手すさびに

女高師附屬幼稚園　保姆

好みの色の少し厚い紙を圓形に切り、先づ要になるハ、ニの部分を墨で黒く塗ります。これは淺い丸形に塗らないと後に格好がよくとれません。次に何でも表面に模樣を描き、イロを中心に縱に折目をつけます。要の部分にて全體を締め、下の兩端を平たい細い棒で挾み、更に頭がぐら〳〵しないやうに、眞中に一本棒を入れて、三本の棒をキリ〳〵と糸で卷いてしばります。その上を紙テップのやうな細い長い紙で卷いて置きますこれで涼しさうな團扇が出來上りました。



圖解

次に提灯の拵らへ方を申し上げませう。ホは中の筒で、ヘトは周圍のふくらみを作る紙です筒になる部分は少し厚い紙を、周圍はそれより薄い紙を撰み、横は同寸に、縱は周圍になる方を五分程長くします。最初に中の筒を拵らへて置きます。周圍は兩端を二分位殘して、中を一分五厘か二分位に縱に鋏みを入れて置きます。そしてヘト兩端即ちヘトの部分を筒の天地に丸くつけますと、中の挾み目は丸く開いて、可愛い提燈が出來ます。これを糸で上部を吊り、柄をつけますと、なほほんとらしくなります。

十二

お化粧問答

問　眞夏に是非儀式の席へ出なければならないのですが、其のお化粧法を。（福井ひろ子）

答　夏はたゞさへ汗と脂の爲にお化粧崩れの致し易いものですから、儀式の席上なぞへお出になりますには餘程お化粧の際の御注意が肝要でございます。先づ儀式の二時間程前お髪上を濟ませまして御入浴遊ばす際、クラブ洗粉でお顏を叮嚀にお洗ひ遊ばし、耳の廻り襟足鼻の廻り等は殊に御注意を要します。御洗顏が濟みましたら一度水へ浸したタヲルでお顏を拭ひ夫からお化粧にかゝります。先づ化粧下を薄く襟から顏にかけて塗ります。化粧下にはアレ日燒止め兼用の化粧下として天下一品の稱あるクラブ美身クリームが一番宜しうございます。即ちクラブ美身クリームの少量を掌で擦込むやうに塗け、柔いタヲルか布で拭取ります。夫からクラブ煉白粉を板刷毛で襟から

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

西洋模倣の卑屈心

斬雲

□作法の相異は恥辱なりや

我が日本國へ來る西洋人は箸で豆や漬物を摘む事が出來ないからとて、大恥を搔いたと嘆息した話は聞いた事はない。又日本式の茶を呑む作法を知らないからとて、大いに赤面した話も聞かぬ。處が日本の紳士が西洋へ行くと、必ず洋食の食ひ方を知らない爲めに恥を搔いたといふ樣な話を聞く。西洋人は日本の習慣に馴れず、又、日本人が西洋の習慣に馴れぬは理の當然であつて、何も恥辱ではないのだ。之を恥辱とするのは彼を主として、何んでも之に習はなくては野蠻人扱ひにされると恐れる卑屈心から來る。智術上に於て西洋は先進國である事は勿論であるが、風俗習慣作法等に於ては、日本には日本丈けの美風がある。馴れぬ手で小刀肉叉で以て、骨ごと煮た鷄肉を刻みつゝ食ふ事は、普通の日本人に出來ぬのは知れ切つた事である。夫が何んで恥辱だらう。片務的に西洋の習慣と作法ばかり尊重して、日本固有の趣味迄も破壞しやうとする、西洋心醉者が今も日本に充滿して居る。

□西洋人の野蠻行爲

樂器で見ても西洋のは多く金、屬線を張つて居る。日本のは絹糸を張つて居る。金屬の音色よりは絃の音が甘味があると日本人は考へて居る。東洋と西洋の趣味の相異が、此の最も直感的な音樂の上に能く現はれて居る。善惡の問題や德行の問題になると、西洋必ずしも東洋に優つて居ない事が確然と理解される。獨逸が白耳義の地に行つた暴虐沙汰などは、其の野蠻にして無慈悲なる事、日本の如き君士國人士の共に齒するを恥づべきものであらう。又は接吻といふ西洋の習慣は、日本人から見ると禽獸の如き淫らな行爲である。又西洋婦人が電車で高聲に口も休めずシャベリ續けるなども、日本の趣味から言ふと餘りに露骨で下品に見える。而かも日本人は田舍者で、西洋人は江戸子の樣に見立てられて居る。田舍者が江戸子式の洒脫な擧動が不得手であるからとて、恥辱とするに足らぬ。唯だ恥辱とすべきは出來ない癖に俄仕立ての半可通な江戸子にならうとして途方も無い失體を招く事である。知らざるを知らずとするは恥辱ではない。私は日本人が西洋人の爲めに田舍者扱ひにされて精々俄か通人とならんとし

腭へかけ耳の裏や襟足等を注意しつゝ、三四度適當の濃さになるまで塗り上げ次に顏に移るのでございます。お顏は矢張板刷毛でクラブ白粉を鼻の上と兩頰に塗り、直に牡丹刷毛で鼻の兩側、頰から腭へかけて手際よく塗り擴げます。眉毛から上、生際までは顏を濟ました牡丹刷毛で一寸刷く位がよろしうございます。次にクラブ粉白粉を擦込むやうに襟へも顏へも刷き付け、其上を水刷毛で落付かせ、柔かな布で水氣を取り、幾度も粉白粉を適當の濃さになるまで塗ります。斯樣な粉白粉のお化粧は三四時間で剝げるやうな事は決してありません。濃化粧をなさる場合はクラブ煉白粉を幾度も適當の濃さに塗りますれば決して半襟を汚すなどいふ御心配はございません。尚ほ脂肪性の方は時々クラブ紙白粉でお顏をソッと押へて置きますれば鼻の白粉が浮いたり、脂切つたりする御心配はありません。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て憂き身をやつす卑屈心が氣に食はぬ。

□之こそ一等國民の恥辱

一生に唯だ一度西洋へ行つて洋食の食ひ方を知らぬ事が國辱であるのなら、日本人は本國に於ても全然日本食を廢して、平生から西洋風の食物を取つたら好からう。私は精神上に於て徳性上に於て、西洋人以上に高尙な發達をして居る日本人が智術に於て西洋人の下に在るからとて、衣食住の果て迄、若くは社交、作法、習慣上の固有の美點迄も、一切西洋に劣つた樣に考へる事を、餘り意氣地なしと見る。萎びた西洋人の婆さんが、赤地の服裝して踵の小さい靴を穿いて、背に涎かけをかけて、恐ろしく尖つた赤い鼻をして居る格好が何が難有いのですか。人間が猿から進化したと唱へたダーキンの顔が甚だしく猿に似て居る事は、定論です。日本人は猿と一番緣遠い顔附きをして居る事が、一番多く進化した證據でせう。徳川文明は趣味上に於て世界未曾有の發達を遂げたもので成上り者の西洋人が豚の腸詰めを誇りとする樣な下等なのとは異ひます。日本人を代表する紳士が西洋へ行つて食物の事で赤恥を搔いて來るなどは恕しがたい失體です。宴會の招待を受けたら日本流に飲食するから、承知かと照會したら好い。此の如きは、飲食の一例であるが、其他の社交に於ても片務的に西洋人に苛められる樣では一等國民の恥辱です。

編輯室より

▲北米のまだ見ぬ川島政子夫人から、同じく同地の讀者にして舊友の大澤ます子夫人と、加州大學の高い塔の下で撮り合つた寫眞二葉と共に、別項の音信に、永島夫人の御寄附を添えて送られました。遙か海のあなたにこれ等の理解深き友を持つは編者のこの上ない喜びであり、慰めでございます。▲本號揭載の森村翁の談は、ふと訪づれて、折柄の夕方の食事にお止め下すつた折の食卓上のきれぐの談話でございますが、いかにも寸鐵の銳い警告あるものを面白いと存じます。

夏の飲物

一番手輕に出來る物

川崎正子

□冷し香茶　水道ならば別に煮冷しにせずとも、汲み取つたまゝで、その中に適量丈けの香茶を入れて三四時間置きます。するとよい味に香茶が出ますから、好みによつて砂糖を入れ、夏蜜柑の皮に、ほんの少し身を附けたのを、一切れ入れます。レモンの薄く輪切りに切つたのを一切れ入れゝば、更らに上等です。なほこの中に碎き氷を入れゝば、よい事は勿論です。

□手輕いミルクセーキ　材料玉子一個、ミルク一合、砂糖大ヒ一杯、果物汁又はレモン油數滴。初め玉子をよく泡立器で泡立

十四

て、砂糖又は砂糖蜜を入れて攪拌しながらミルクを入れます。これにかき氷をコップに一位杯入れて泡立器を回して居りますと、次第に泡立ちます。これに果物の汁かレモン油をたらして、適宜にコップに注ぎ入れて勸めます。

□コーヒーを甘味しく入れる法

コーヒーを入れるには、コーヒーポットなど特別な器を用ゐなくとも、鍋でもよいのです。これを甘味しく入れるには、前晩から水一合にコーヒー二茶ヒの割に鍋に入れて置きます。翌朝これを火にかけてにたてるのですが、餘りぐら〳〵と煮ると、よい薫りがなくなりますから、にたちさうになつたら、水を注して沸騰するのを二三回止め、鍋を下ろして一寸置きますと、槽は下に淬りますから、砂糖ミルクを入れた茶碗の中に注ぎ入れて出しますと、普通に入れるより餘程味がようございます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二つ目娘

(下ノ一)

悠子

そのうちにいつか日が暮れだしました。二つ目は同じやうに一つ目を眠らせて置いて、その間に夜の御飯をすませてしまひました。お晝の時もやはり朝と同じやうにしたのです。けれどその時も一つ目は眠らされてゐましたから、不思議な御馳走のことは何も知りませんでした。

だん／＼あたりが薄暗くなつてきましたので二つ目は「姉さんもう家へ歸りせう」といつて、羊を連れて家の方へ歩き出しました。その晩二つ目はきのふと同じやうに御飯は食べたくないと云ひましたので、お母さんはきつとそれは何處かで御馳走になつたに違ひないと思ひました。それで早速一つ目に「お前が一緒についていつてどんな樣子だつたい」と尋ねました。けれども一つ目は眠つてしまつて何も知りませんから、折角行つてもなにもなりませんでした。

翌朝の事でした。今度は妹の三つ目が行く事になりまして、「どこで二つ目は御飯を食べてくるのか、よく見屆けておいで」と母親にいひつけられました。

二つ目はいつもの通り羊達をつれて、今度は三つ目の妹と一緒に出掛けました。この日も大變よいお天氣で、三つ目はいゝ心持になつて眠いやうな氣がしましたが、寢てしまふとお母さんにいひつけられた事がたしかめられないと思ひましたから、一生懸命がまんして二つ目の樣子を注意してゐました。

やがて二つ目は歌をうたひだしました。

「起きてゐるの？三つ目さん
眠つてゐるの？三つ目さん」

さうすると、三つ目はしらず／＼の間にねむくなつて、草原の上へ寢てしまひました。二つ目はなほも歌ひつゞけてゐました。

「起きてゐるの？三つ目さん
眠つてゐるの？三つ目さん」

けれどもその内に二つ目はどうしたのか歌を間違へて

「眠つてゐるの？三つ目さん」

といふ代りに

「眠つてゐるの？二つ目さん」

といつてしまひました。すると三つ目の妹の眞中の目がパチッと開きました。

然し二つ目はちつとも氣がつかずに居りましたので、三つ目が寢てしまつたことゝ思つて、やがてお婆さんに敎はつた通り

少さい羊
お乳をお出し
お膳をお出し

といひました。するといつものやうに其處に御馳走が出てきました。やがてこれを食べて終ひますと又

少さい羊
お乳をかくせ
お膳をかくせ

といひますと、今まで其處にあつたお膳がスーと何處かに消えてしまひました。

三つ目は眞中の一つの目でそれをみんな見てしまひました。

(つゞく)

子供の智慧

この四月一年に上つた美いちやん（七つ）は、指で寄せ算をする癖がついてゐました。十より上の數にいくと、わからないので、どうしてさう判らないのかさいふさ、「だつて指が十きりないもの」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説 愛

木内錠子

第八回

ジャンは欝蒼とした樹蔭を通り脱けて、狹い谷間に臨んだ崖地の上へ出ると、其處に恍惚と立すくんで居る若い婦人の姿を認めました。晝間の喧騷と慌しい奔走振りに心身の疲勞を覺えたパットは、疑ひもなく暫時の安靜と休養とを望んだに相違ありません。

ジャンは默つて彼女に近附ました。帽子も被らず、蒼白い月の光の照すが儘に任せてある思ひ深げな面差は、幾年前から彼の心に忘られぬ印象を止めたでありませう。

「貴孃は必度お疲勞なすつたのでせう」

「疲れて？私が？……否ゑ、ちつとも」

彼女は快活に應じました。

「私は又余り此處の景色が氣に入つたので、つひ見恍れて居りましたの、マドレーヌは子供を寢せつけに行きましたし……本統を申しますと彼女を送りながら此處迄來て歸るのを忘れて了つたので御坐います。まア一寸御覽なさい。此美い景色を、月の光が谷川の流れに碎けて、金色の波が……。滑かな芝生の上には杉の村立が重々しい影を擴げて……。全然、銀砂子を散したやうな紺青の空……。今更では御坐いませんが、天主の御手業の讃嘆す可き事は、全く人間の意想外で御坐います。――何處迄御慈悲深く入らつしやるのでせう。數にもない私共に迄此樣な聖い慰藉を下さると云ふのは――」

ジャンはそつと嘆息を洩しました。

「貴孃の樣な熱烈な信仰と敬虔な憧憬を感じ得る者は世間に稀です。多くは皮相的な交際とか快樂とかに溺れて靈魂の問題は忽がせに附せられて居ます。」

「でも貴君はさうでは入らつしやいますまい」

パットは心持氣遣はしげに眉を曇らせました。

「貴孃に何をお隱し申しませう私は時折おそるべき懐疑説に惱まされるのであります。私共一般の人達を指導く世間は間々正道に背く行爲を敢へてします人は知らず知らずの間に其潮流に捲込まれて行つて、正直云ふと私だつてさうです。年齡と共に生長するに從つて、子供時代に培はれた信心の務めは疎まれ勝手で、或時は失望し、或時は悲歎の涙に暮れ、……靈魂は荒み放題に荒んで行きます。』

「私共が渾身の熱愛を捧げて居る信仰を否定なさる、――其樣な事は到底も信じられません」

「……否定すると云ふのではありません、かへつて私共の子供時代や年若な頃の純な信仰にかへれないのが苦痛なのです」

「さういふもので御坐いませうか、信心の務めは實社會の義務や職分とは全く筋目が違ひますから……」

「仰在る通りです、然し私共の乾燥無味な實生活は、神聖な美はしい宗敎的氣分を奪つて行きます。貴孃は幸福と近代文學の惡影響を被つてお出でなさらんが……悉皆とは云へませんが其中の或二三種なぞは其惡感化を傳播させる勢力に於ては侮る可からざるもので、初めは齒牙にもかけないで居るやうな連中迄往々やられて了ふのです」

「それですのに、何故貴君は…………」

「誰が好んで耽讀するものです

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

か、朝夕日に觸れる新聞雜誌、……至る處に其種の文字が散見せられます」

「けれど其反對に私共の思想を高め信念を强める書物がないとは申されますまい。私の貧しい經驗から貴君にとやかく御差圖するとは出來ませんが、司祭樣にお尋ね遊ばしたら必らず貴君に御會得が參るやうなお答へを遊ばすと、信じます。けれど只今貴君にお勸め申したいのは、――否え貴君斗りでは御坐いません、誰方にもお勸め致します――それは外でも御坐いません福音書で御坐います。貴君、時々お讀み遊ばしませうか。私にお約束が願ひたう御坐います」

「お約束します、そして私の爲にもお祈り下さい」

「私の力に及びます限りは――一日として忘れますまい」

パットの答へは熱愛に炎えて居りました。

「お話の筋は少と違ひますが……」

ジャンは稍あつて口を切りました。

「是非一つ貴女に聞いて頂きたい事があるのです。此午後姪達と一緒にお撮りになつた寫眞を私に燒增しさせては下さいますまいか」

パットは心持上氣した顏をクルリと背向けました。

「貴君のお姪御樣達のお寫眞をお望みなさるに何の不思議が御坐いませう」

幾分皮肉な微笑が唇邊に窺はれました。

「何と仰在る、何で私があの寫眞を御所望しましたか……然しお許し下さるでせう？私の寂寥しい部屋を賑はす爲に、――樂しい將來を豫想するたよりに――」

若い娘は一寸沈默に落ちました。稍あつて靑年の方へ强い視線を向けながら、

「私共二人の態度について――どういふ風にして居たら宜しいか隨分私は考へさせられました、それで私は斯う決心を致しました。私を充分御了解になるとは非常にのぞましい事で御坐いますが、それ以上には――」

「其處です、私が少し不安を感ずるのは――」

ジャンは心中の憂悶を押隱さうとして强いて微笑を浮べながら・落付かない返事をしました

「貴君に御心配をかけますのは大變辛く存じますが、――」

パットは靜かに附加へました

「けれども只今私の將來についてお約束を申上る事は出來ません、祖父は工場の建增を致すとかで忙しがつて居りますし、さう致せば勢ひ職人もふやさねばなりますまいし、――種々心配ひが多い事と存じますので……。今の處少し御猶豫が願ひたいと思ひます。祖父とても私の身の上に就ては始終心配もして居りますことですから……然し只今、貴君は士官で居らつしやいませう」

靑年は蒼ざめた顏をうつむかせました。

「仰在る通り、私は士官です。靈魂に於ても兵卒です。軍職に身を投じて以來、殆んどすべてを犧牲に供して、今日迄立て通したとは御存知の筈だと思ひます。そして今は貴孃の爲にも……」

パットは對手を見詰めながら手を差のべました。

「御分りですか、私がずつと前から其犧牲を貴君にお願ひして居たとを……」

彼女は活々と答へました。

「……私の爲にと仰在るなら私は貴君をそれ程にもなく存じますでせう、……祖父は必らず其内に工場を人手に渡すに違ひムいません。けれども手放す前に一期の思出と云ふ計畫をする覺悟と見えます、……待たなければなりません。貴君には其御辛抱が出來ますか」

「貴孃の爲ならどんなにも――」

「けれども、私としては、……愛する祖父をどうしても一人で

十七

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

置くに忍びないので御坐いますす家庭の一員として引受けて下さいませうか」

「それこそ私の希望む處です。三人樂しく三つ鼎で暮す私共の家庭は、どんなに幸福なことでせう。マドレーヌはそれと大方察したらしいのです、……けれど待ちませう。よい時機が二人の前に進んで來る迄……。」二人は靜かに歩をかへして行きました。

如何にも穩やかな夕暮が彼等二人の周圍を取卷きました。木の葉も眠りについたか、そよとの風の音信もなく、只水の樣な月の光が淡々と靜まりかへつた邊りを浸して居るのでした。

時事

□皇太子殿下御還啓　皇太子殿下には一日東京御發輿、青森、巖手、宮城三縣下御見學あらせられ十日午前仙臺御發同日午後御歸還相成りました。

□皇太子殿下葉山へ　皇太子殿下には十五日午前相州葉山御用邸に御避暑相成りました。

□兩皇子關西へ行啓　淳宮、高松宮兩王子殿下には、十五日東京御出發京阪地方御巡遊の途に上らせ給ひました。

◉**時局急轉す**　西伯利出兵問題は數ヶ月前からの宿題ですが、最近英佛兩國より米國に交渉の結果、我國の負擔は重きを加はる事となり、十二日臨時閣議の開かれたるを始めとして、形勢緊張し來り、突然京都より西園寺侯、鎌倉より松方侯歸京し十五日午前宮中に右二元老と山縣老公を加へたる元老會議開かれ、席上重要問題に就き寺內首相の報告がありました。其內容として傳ふ所に依れば、浦鹽のチエツク軍を援助する爲、日本及び米國にて七千位の出兵を爲さんとする一方、帝國自衞上單獨にて西部西伯利へ出兵せんとするもので、元老會議は無事通過したとの事であります。斯くて十六日は外交調査會に於て同問題は議せらるべく、形勢は急轉直下して來ました。然し近來漸く政府反對の態度を示じて來た政友會の態度は、最も重要視されて居ります。

◉**戰艦河內爆沈**　戰闘艦河內（二萬八百噸）は周防德山港碇泊中なる十二日午後三時五十七分、折柄暴風雨中に、艦の中央部より爆發し、約四分間で沈沒しました。風雨中の椿事とて其慘狀甚だしく千餘の乘組員中殉難せるもの五百數十名に達しました。艦長正木大佐は海中に投出されましたけれども救助され、副長吉富中佐、航海長伴少佐、砲術長、鈴木少佐、井上機關少佐等は、生存將校三十六名の中にあります。行方不明（即ち殉難）將後は、水雷長藤好少佐、分隊長吉村少佐、機關長飯島中佐、軍醫長中喜久太郎中監伊藤主計少監、以下約二十名であります。河內は日本で最初に建造された弩級艦であり進水は明治四十五年三月でありますから艦齡若く未だ戰艦として戰鬪をした事がない戰艦です。原因は全く不明とされてゐますが、査問委員長に土屋光金中將の任命を見ました。中央部爆發ですから浮揚せしめる事は先づ絕望とされて居ますが、現在建造すれば三千萬圓かゝるのですから國家の大損失であります。正木艦長は青島戰の時、勇名を馳せた鬼大佐であります。死體の大半は未だ引揚られず、遺骸は德山及び呉で茶毘に附せられつゝあります。

△**殉難將卒の海軍葬**　河內殉難將卒五百數十名の葬儀は、二十一日午後一時より呉軍港にて盛大なる海軍葬を以て、執行される事になりました。

◉**獨逸大使暗殺さる**　モスコー駐剳獨逸大使ミルバッハ伯は露國社會黨員の爲五日暗殺されました。

◉**印度の憲法改革**　英國は此程印度の憲法改革案を發表しましたが、之に依ると印度は政治上の各方面の責任の大部分を地方の立法權に委ねる事、是等の立法部は印度の現狀に於て能ふ限りの廣汎な選擧權に依り、直接

十八

婦人と化粧

高木東京美顏術研究所長談

化粧と謂ひ着飾ると云ふ事は都の人も田舍の人も其心持ちは同じ事である。唯都の人は着物は其時〳〵の流行を追ひて作り顏や肌の化粧も次第に便利で且つ完全したる化粧具や材料を使ふ爲めにどうしても奇麗に肉體の自然美を表はして見せる。

又御化粧するにしても着物を着るにしても新橋の理容舘や赤坂の美粧倶樂部と云ふ樣な稍整頓した所があつて餘り高くない料金で立派にお化粧をしてくれたり着付をして貰らへる。夫が爲めか一寸外出して電車の中とか公園の散歩に婦人の姿を見ると如何にもスツキリとして氣持好く感じられる。

併し之れは外出等の如き立派に着飾つた時の話で平常の時でも都の人は割合に血色が好くキメが細かで色が白い……樣に見える、之れは一方に素人化粧法の進歩したと云ふ點もあらうけれども一つは其材料が容易に求められると云ふ事も其原因である。

一寸或る婦人の鏡臺を失敬して覗いて見ると、殆ど美顏術師の備へて居る化粧道具のアラマシがチヤーンと行列をして御用を待つて居る、其所で氣が付いたから其內にあつた一ッで極く最新式の化粧具として美顏術師も亦素人の御婦人誰れでもが使つて至極便利だと噂せられ居る「化粧いらず」に就て私の實驗した所を紹介しよう。

元來この「化粧いらず」は高等工業出身の或る技師の發明での夫を東京美顏術

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

選擧されたる代議員に依つて組織されると云ふのでありますから、從來印度の革命家の主張してゐた所が、一部分達せられたものと見るべきでせう。

◉**航空費募集の招待**　帝國、國民兩飛行協會は合同の上新飛躍を試みる事となりましたので、寺内首相は六日正午京濱及關西の實業家を官邸に招待して、資金二百萬圓の募集に就き相談しました。

◉**稀有の暴風雨襲來す**　南洋方面から來た颱風は、九日九州を襲ひ電信電話を不通ならしめ鐵道被害亦大に、十日中國四國を荒して十一、二日東海道より關東を見舞つて日本海へ去りましたが、其被害は中國地方最も甚だしく、洪水の爲め溺死者橋梁流失等數ふに遑なく、山陽線は二日間運轉不能となりました。實に近年稀有の暴風雨でありました。

◉**二瀨事件の判決**　製鐵所二瀨出張所倉庫主任川上積、以下に係る瀆職事件の判決は十二日福岡地方裁判所に於て川上の懲役八ヶ月以下收賄者五名の懲役、贈賄者の罰金等申渡しがありました。

◉**汽車賃値上實施**　十六日から汽車賃より二割七分方引上げられた新賃金の實行を見ました。

◉**小手荷物の値上運賃**　鐵道院では愈々九月一日から小手荷物の運賃値上を實施する事となりましたが其率は平均二割で從來最低重量一斤迄だつたのを二斤とし、賃金は最低七錢を十錢とし、從來七百哩以上を同一賃金としたのを千二百哩以上同一賃金とし、各驛での保管料は均一料金一個五錢とされました。

◉**百萬圓を公共事業に**　大阪府多額納税者船舶業林竹三郎氏（五二）は十二日逝去しましたが遺產中百萬圓を親戚知人及び使用人に分配し百萬圓を社會公共事業に寄附すべく遺言しました。

◉美術院の紛擾　日本美術院創立以來の評議員笹川臨風氏は此程辭意を決し次で内藤伸氏は脫會屆を出し齋藤隆三氏亦笹川氏と同樣の行動を採る事に決心し下村觀山氏も同院を去るであらうと傳へられます。

◉外相邸の文士招待會　後藤外相の愛婿鶴見祐輔氏が洋行前に日頃の友達を招く形で十五日夜外相私邸へ阿部次郎、田中純、和辻哲郎、有島生馬、長田秀雄同幹彦、芥川龍之助、久米正雄、里見淳、泉鏡花の諸氏を招待し時局多端の一夜を外相の出席あり珍らしい會合でありました。

◉南洋の觀光團來る　南洋新領土の第四回觀光團八十八名は十五日着入京しました。團員は重に島々の有力者の家族で小學校生徒中選拔された卒業者十八名が通譯にあたる由で中には日本名の太郎（十二）堀郎（十五）コマ子孃（十五）などがあります。

◉女高師生の支那行　東京女子高等師範生廿名は十一日夜東京驛發青島より支那各地修學旅行の途に就きました。

◉月山彌五郎翁逝く　帝室技藝員月山彌五郎翁は十一日大阪に逝く、享年八十。翁は日本一の刀鍛冶として知られ我皇室よりヴエルダン市へ贈られたる太刀、コンノート殿下へ東京市より獻上の太刀を製作し死前々日吾陛下より英帝に御贈呈あるべき元帥太刀の新身を打上げたと云ふ事です。

◉慰問婦人會の決算　江原素六氏を委員長とせる聯合軍慰問婦人後援會は、五月中各所に催した慰問デーの繪端書賣上高を公表しました。總收入一萬八千百六十七圓四十錢、中諸入費を差引き、純益一萬二千圓を慰問部に寄附し、同時に後援會は解散いたしました。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります、但しこれは依頼者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表
△壹部金五錢五厘（郵税共）
△一ヶ月（四部又は五部）金廿二錢
△三ヶ月（十三部）金六拾六錢
△半年（廿六部）金壹圓廿錢
△一年金貳圓四十錢
△外國一年分金參圓廿錢

廣告料
△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼發行印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

師が或る御婚禮のお嫁樣に使つたのが動めで其後一般に誰でも使ふ樣になつた、所が夫が爲めに美顏術を頼みに行く者が減じたと云ふ程皮膚を整へ化粧する時は缺くべからざる重寶なものと噂して居る、又實際効果がある、この「化粧いらず」で顏を拭く時は自然にニキビが取れる。キメが好くなる。又顏の汗や脂肪を取る爲めに其後へ白粉を付けると、どんな惡い白粉でも決してムラに付く事がない、或人は小皺が無くなると云ふが夫はどうか私に證明は出來ぬ。

此「化粧いらず」は品質は一見ゴム製の薄きハンカチーフ樣のものであるが性分はゴムとは全然其質が違ふ、爲めに何所でも出來るもので無く今東京で或る大會社が一手に製造して居る夫を富士洋行が發賣して居るが殆ど專賣特許の樣のものである、又此「化粧いらず」は永久に使へて無くなるものでないから使ふ人は非常に都合が宜い。

それからモ一ツ特効は婦人は職務の都合で平常は餘り白粉など付ける事の出來ない人がある、夫等には最も都合が好い、夫は顏を洗つた後で朝でも晩でもこの「化粧いらず」で輕くマツサージする樣に拭く時は顏がスベスベとして白粉氣のない薄化粧した位の白さになる、コレは不思議の事でもない、顏をマツサージし、同時に脂肪を取ると自然にほんのりと血色の好い白さを見せます。

化粧いらず定價一圓二十錢及一圓八十錢
婦人週報社代理部でも取次ぎます。

東京牛込區外戸塚町　富士洋行
振替東京三一五九五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

診察毎朝及毎夕（但祭日及日曜の他）
院長診察月木金午前及木午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京麹町區三番町卅番地（市ケ谷見附内）
電話 六二番 五一六番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎朝（但祭日及日曜及土曜の他）

大黒天印 赤 白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分を含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮内省御用達
發賣元 甲斐産商店
東京市日本橋區通旅籠町
電話浪花八七〇、八七一

◎内科◎小兒科
宅診午前 往診午後

藤井診療所

藤井かう子
本郷區彌生町二番地ハノ三十三號
（電車高等學校前下車）
電話小石川一六四六（呼出し）

耳鼻咽喉科專門

（入院隨時）

大野醫院

院長 耳鼻咽喉科 大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

電話番町 三三五七

家庭衛生夏期講習會

一、目的 家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所 赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内。
一、期間 自八月一日十日間毎日午前九時より十一時迄。（但し日曜日を除く）
一、講習料 金十圓也前納の事。
一、人員 十名を以て定員とす。（希望者五名以上に達すれば開始す）
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典 講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催 婦人矯風會本部。
一、講習主任 醫師藤井孝。
右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す火金曜午後一時より二時迄特別會話の組あり月謝金二圓（ピアノ個人教授の需めに應ず）

英語專門私立 櫻井女塾
本郷區彌生町三番地
電話小石川二六九一番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京二二三一番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

出ましたし八月號の雑誌が

主婦之友

夏季奮闘生活の經驗
田園生活で肺病を全治の經驗や一夏の奮闘で住宅を買得た經驗等必讀の文字也

子宮病の新治療法
西洋で盛に行はる、療法で薬らいらねば手術も要さぬ理想的の新療法で有ます

水死した子を蘇生させた實驗
川に溺れた三歳の子供を母の手で蘇生させた實驗で時節柄一讀すべき好讀物

子供の急病を看護した經驗
夏に犯された子供の重病を看護した母親三人の經驗で子をもつ者の必讀文字

溫泉と海水浴案内
日本全國の理想的避暑地たる溫泉及海水浴場を寫眞入にて百餘ヶ所紹介しあり

高等内職（有利な）（佐賀錦）
最も優美高尚の手藝にして一日一圓位の收入は確實也詳細は主婦之友の誌上に有り

白地七寶絞の染方
粋で上品な七寶絞を素人にもわかる樣に說いて有ますから奥樣方は是非試られ

汗の多い人の化粧法
夏の化粧に苦心なさる汗かきの人も遠藤はつ子女史の此記事を讀めば心配は無くなる

食慾を進める夏料理
此外に田中夫人の野菜の惣菜と漬物櫻井女史の果物の食方あり奥樣方の一讀を望む

旅役者に零落した名流若夫人
世に時めきし名流の若夫人が今は田舎廻の女優となりし憂き身の上實に涙の物語也

小說
七面鳥（岡本綺堂）
主婦采配記（佐々木邦）

一冊廿錢（送料一錢半）半年分一圓廿五錢
東京神田表神保町　振替三三七八六番
東京家政研究會

オキシナー水白粉は、地肌から色が白く見せるのが、誇りとする處でございます。

オキシナー
水白粉

オキシナー水白粉は化粧下美容液と白粉とを最も強度に混合はせた品でございます。

東京溜池　オキシナー商會

ふけしらず

このふけしらずは米國醫學士某氏の多年の研究の結果生れたもので有害のものは一切避けてあるばかりでなく徒らに香氣高いものを入れる代りに薬品を精選した確實の品であります。

▲効能

一、ふけ多き人
一、ぬけ毛に困る人
一、くせ毛の人
一、のぼせ性の人
一、産前産後脱毛期
一、うす毛にこまる人

徳用大瓶　壹圓
普通小瓶　廿五錢
送料　市内無料　地方八錢　滿鮮卅錢

全國有名なる賣藥化粧品店にあり

製造發賣元　日米静養舍　東京巣鴨一三一一　振替東京四〇八〇七

▼婦人週報社代理部でも取次ぎます▲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA